

暖地における水稲乾田直播栽培に関する研究

第1報 直播稲の生育相について※

小西薫・西村昭司郎

直播稲の生育は、同時播種の移植稲に比し、草丈、茎数、主稈葉数とも緩漫な伸長を示す。そして、早播ほど直播稲と移植稲の生育差が大きく、晩植では差が少ないかまたはなくなる。

出穂期は直播稲も播種期の早いものが早く、晩播による出穂促進も同一品種では移植と変わらない。

稈長は移植が大きく、直播は短稈となる。

穂長は直播することによって、とくに短小となることはないようである。但し播種密度が高くなれば短小化する。

分けつは移植が多く、一株穂数は直播が少ない。

以上の生育相から直播稲の収量性を高めるためには、発芽苗立及び初期伸長性を高めることが必要且つ重要であり、また分けつが劣り、移植に比し単位面積当りの穎花数が少なくなるから播種様式の検討と播種密度を移植よりも高くする必要があるだろう。